

デジタル ヒューマニティーズ(DH) ～人文学×情報学あれこれ～

デジタル・ヒューマニティーズ(DH：人文情報学)をご存知ですか？旧来は研究者が目で見て記録・分析してきた文字や画像など様々な研究資料を、デジタル・データとして蓄積・公開する作業が各所で進んでいます。旧来とは異なる視座や規模での分析や研究展開の可能性や、細かく分化した研究領域を超えた研究の可能性も拓かれつつあります。

今回の研究井戸端トークは、学内外から、アーカイブズ学、生物学、文学さらにDHの研究者をお招きし、古き良き人文学と変わりゆく人文学、分野を超えたデジタル技術の応用の可能性についておしゃべりします。「DHって何？」「こんなことやってます」「こんなことやりたいんですが、どうですか？」「え、そんなこともできるんですか？」など、ざっくばらんなトークを予定しています。新たな取り組みや考え方、価値観、協働など、未来に向けたトークや繋がりにも期待します。

2021.7.2. 16:30-18:00 (Zoom)

簡単な話題提供+自由な対話

対象：研究者・大学院生

事前登録：<https://forms.office.com/r/w2r2AUsFrm>



永崎 研宣 准教授 (話題提供)

一般財団法人 人文情報学研究所
人文情報学研究部門 主席研究員
専門：人文情報学

仏教学を中心として、国内外の人文学の様々な分野におけるデジタル技術の応用を支援しつつ、東京大学をはじめ各地の大学でDHの授業を担当。本年は広島大学でも開講予定。



坪田 博美 准教授 (話題提供)

専門：生物学 (広島大学 宮島自然植物実験所)
世界遺産宮島で植物や生態系を対象に研究。本学に蓄積されている教育・研究の成果を、学生の教育や研究、さらに社会へ公開する目的で設置された広島大学デジタル博物館の運営に携わる。



今林 修 教授 (司会)

専門：英語文体論・英語文献学 (広島大学)
後期近代英語期 (1700-1900) における英国小説の言語・文体を研究。故山本忠雄 (元広島大学教授) の意志を継ぎ、DHの技術を活用した『デジタル・ディケンズ・レキシコン』を共同編纂している。



久保田 明子 助教 (話題提供)

専門：アーカイブズ学 (広島大学)
医学、物理学、原爆学術調査などの資料を扱う。毎年、広島大学医学部や原爆放射線医科学研究所の資料展示を企画・運営し、2020年度には、被爆75年、医学部設立75年、原医研設立60年を期して資料展示「広島大学 原医研の60年」を開催。



企画：広島大学学術・社会連携室URA部門

お問合せはこちら：ura@office.hiroshima-u.ac.jp